

コード No. 18751

**Anti-Human
Syndecan-4 Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

はじめに : 膜貫通型ヘパラン硫酸プロテオグリカン(HSPG)であるシンデカン(Syndecan)ファミリーは、4つのメンバー(Syndecan-1/Syndecan, Syndecan-2/Fibroglycan, Syndecan-3/N-syndecan, Syndecan-4/Ryudocan/Amphyglycan)の存在が知られています。これらのHSPGはそれぞれ細胞種に特異的な分布をしており、血管内皮細胞においてはSyndecan-1, -2, -4の発現が主に細胞間・基底膜側に見られます。SyndecanファミリーはI型膜タンパク質に属し、互いにその膜貫通ドメインおよび細胞質ドメインにホモロジーをもつファミリーを形成していることが判明しています。また、この膜貫通細胞内ドメインには位置の保存されたチロシン残基が4個存在しており、いずれかのチロシン残基がリン酸化されることにより細胞内情報伝達に関与する可能性も指摘されています。また、これらの細胞内ドメイン端はSyndecan-1/Syndecanでは細胞内マイクロフィラメントとの会合に、Syndecan-4/Ryudocan (Amphyglycan)ではfocal adhesionに関与していることが示されています。このようにSyndecan-4/Ryudocan (Amphyglycan)は、血液抗凝固、細胞接着、細胞増殖など様々な生物学的機能を持つことが知られています。

免疫抗原 : Syndecan-4 MBP (Maltose Binding Protein) リコンビナントタンパク質

精製方法 : 抗原カラムによる特異精製

包装形態 : 1% BSA、0.05% NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 2~4 µg/mL にて使用可能

使用方法 (ホルマリン固定・パラフィン包埋切片、MW 前処理 10分 (10mM クエン酸緩衝液、pH6.0) が必要)

: ウェスタン・ブロッティング 1~2 µg/mL にて使用可能

特異性 : ウェスタン・ブロッティングにて確認